

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無		電話	042(754)3604
担当部課名	生涯学習部	図書館	課	奉仕 係
事務事業名	AVサービス経費		事業コード	15110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	7年度
施策名	第1施策	生涯学習機会の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

図書館法

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
蔵書計画に基づき、CD・ビデオ等AV資料の充実を図り、一般利用者への貸出し、館内視聴に供することにより、生涯学習の推進に資する。		一般	
		対象数	約258,000(平成13)
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
CD、ビデオ等の購入により資料の充実を図った。 AV資料購入数 CD 213枚、ビデオ241本 AV資料所蔵数 CD 5756枚、ビデオ5723本、LD452枚		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度
		なし	

4 評価指標

指標名	AV資料貸出占有率 全貸出数に占めるAV資料貸出の割合	館内視聴率
指標式	$AV\text{資料貸出件数} / \text{全資料貸出件数} \times 100$	$AV\text{資料館内視聴件数} / \text{所蔵AV資料数} \times 100$
指標設定の意図	図書館サービス全体の中のAVサービスの実施状況を把握する。	館内での視聴設備の活用状況を把握する。

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	13.2	13.5	a	b	14.0
指標	36.7	38.4	c	d	43.7
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	5,897	2,653	2,642	2,663
	人員・時間数	2.0	2.0	2.0	2.0
	人件費	10,276	10,276	10,301	10,301
	その他経費	0	0	0	0
	合計	16,173	12,929	12,943	12,964
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 102.0%	
	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{13.7}{13.8} \times 100 = 99.3\%$	$\frac{c}{d}$	$\frac{42.0}{40.1} \times 100 = 104.7\%$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由:	メディアの多様化に応じて、AV資料へのニーズが高まってきている。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A:適応している	理由:	メディアの多様化に伴う市民ニーズの変化を的確に捉えた資料収集が必要である。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A:妥当である	理由:	AV資料窓口業務については、利用相談員・非常勤職員の活用割合を増大させ、人件費を軽減する余地がある。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由:	文化的に良質な資料を広く一般に提供するには、市が主体となって実施することが適当である。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A:満足できる	理由:	AV資料の提供は、書籍以外のメディアを求める市民ニーズに合致しており、満足を得られている。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	生涯学習の機会を充実させるため、AV資料の貸出・視聴をととして市民に多くの選択肢を与えることが重要である。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明:</p> より一層市民へのPRに努めたり、DVDなど、新しい媒体の導入を検討する余地あり。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明:</p> 人件費の軽減を図る

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較		AV資料の提供は、市民が生涯学習を行なっていくうえでの選択の幅を広げるもので、個人の生涯学習の充実という観点からも重要である。今後はさらなる市民ニーズの把握に努め、DVDをはじめとした新しい媒体の導入を検討していく必要がある。
	今後の進め方 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了		

8 二次評価における変更点

・図書館の果たすべき役割に照らし、映画や音楽等の分野のうち娯楽資料の民間業者との住み分けなど、資料の選定の基準等について検討すべきである。